

【重要】各リーグ再開についてのお知らせ

令和3年6月13日
大分市サッカー協会
社会人委員会

日頃よりお世話になります。大分市内での新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、大分市サッカー協会社会人委員会主催大会(市リーグ・ミドルリーグ・マスターズリーグ)の開催を「6月13日(日)」まで延期としてきましたが、大分県による不要不急の外出自粛要請の解除をうけて「6月19日(土)」のマスターズリーグから「**全てのリーグを再開**」とします。

チーム関係者の皆様には、新型コロナウイルス感染予防対策をチーム内へ周知していただき、チーム及び個人の感染予防の徹底をお願い致します。

新型コロナウイルス感染予防対策について

【感染予防対策】

○大会開催における注意事項

- ・発熱(37.5℃以上)、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚味覚の異常等の体調不良症状がある場合は、参加を認めない。14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・同居家族や職場の同僚、身近に接した知人に感染が疑われる方がいる場合の参加は認めない。職場で感染疑いによる出勤停止者がいる場合も同様。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は、可能な限りマスクを着用すること。
- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットを励行すること。
- ・利用施設内におけるつばを吐く行為を禁止とする。
- ・感染者が発生した場合には、大会を即中止とする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する必要があることを同意の上、参加すること。

○参加者の対応

- ・参加者は検温を実施し会場に来ること。
- ・チーム代表者は、試合当日、参加者全員の健康状態を確認し、メンバー表の選手氏名の横の空白に参加者全員(役員も含む)の当日の体温を記載すること。また、メンバー表の下の空白に当日のチーム代表者の名前と電話番号を記載し、会場担当に提出すること(必要時は情報を開示する場合がある)。
- ・その他、判断が難しい場合は社会人委員会に連絡すること

○チームの対応

- ・試合会場には、各チームでハンドソープおよび消毒液を準備し、会場に持参すること。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ・ウォーミングアップおよび試合において、選手が密集、密接する円陣や整列などは控える。
- ・試合開始前後のチームの整列は行わず、タッチライン上で審判による用具チェックの済んだ者からグラウンドに入場する。試合終了後は各自でベンチに戻ることにする。キャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省く。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わないようにすること。
- ・ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮すること。
- ・ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。人との距離を 2 メートル確保する。
- ・マスクを外して活動する場合は、十分に周囲の人との距離を空ける。
- ・試合の観戦は極力控えること。
- ・密集、密接にならないように配慮すること。
- ・試合終了後は、審判などの必要時以外は会場に残った観戦などは控えること。
- ・チーム責任者は、試合後 2 週間以内および大会期間中にチーム内で新型コロナウイルス感染症に感染した者が出了た場合は、速やかに大分市サッカー協会社会人委員会に連絡する。

○会場担当の対応

- ・当日の会場担当チームの代表者を当日の会場における感染対策責任者とする。
- ・会場担当チームは、出場選手全員の当日の体温、代表者の氏名、連絡先がメンバー表に記載されていることを確認し、用紙を受け取り当日の運営を行うこと。メンバー表は必ず保管すること。
- ・参加チームだけではなく、審判員にも健康チェックの実施を行うこと。

○参加者が PCR 検査を受けた場合

陽性であった場合は、保健所や医療機関の指示に従い、各機関から参加の許可が降りるまでは参加を不可とする。

陰性であった場合も、検査後 2 週間はリーグへの参加を不可とする。

○参加者が濃厚接触者と判断された場合

保健所等からの指示に従い、許可が降りるまでは参加を不可とする。

○その他

リーグ参加者は、日頃からの感染予防に努めてください。具体的には、感染拡大地域に行くことは控える、出張などで感染拡大地域に行くことがあった場合はリーグの参加を控えるなど、社会人としてお互いに迷惑をかけないように配慮しながら、リーグへ参加してください。

以上